

環境監査結果詳細(3)(平成17年度独自目標未達成の原因究明とその対策(1/2))

環境方針	目的	目標	取組区分	目標値	実績値	単位	数値把握方法	目標達成状況	目標未達成の場合		原因と対策
				H17	H17				原因究明の有無	対策の有無	
環境汚染の未然防止・地球環境保全	CO2排出量の削減	取組施設のCO2排出量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	320,886	318,324	kgC	CO2排出量計算表	○			
	水質汚濁物質排出の抑制	合併処理浄化槽を毎年70基新設	庁舎	70	70	基	課別チェック表	○			
		家庭からの使用済み天ぷら油の回収量を月200リットル	庁舎	200	228	l	課別チェック表	○			
	農薬使用の抑制	農薬散布面積を現状より縮小	庁舎	1,992	1,948	ha	課別チェック表	○			
	公共工事に伴う周辺環境への配慮	環境に配慮した工事割合を高める	庁舎			-					公共工事を行う際は、自然環境や生活環境に配慮した工事を行うよう指導し、500万円を超える事業については、「公共工事環境配慮チェックシート」を記入して、発注・設計・施工段階での環境配慮に努めている。
自然の持つ多面的機能の維持	森林の維持管理	町有林・分収林の管理面積1,400ha以上維持	庁舎	1,400	1,494	ha	課別チェック表	○			
	傾斜地水田の保全	傾斜地水田補助面積を14ha以上維持	庁舎	14.0	14.6	ha	課別チェック表	○			
	公共工事に伴う自然環境への配慮	環境に配慮した工事割合を高める	庁舎			-					公共工事を行う際は、自然環境や生活環境に配慮した工事を行うよう指導し、500万円を超える事業については、「公共工事環境配慮チェックシート」を記入して、発注・設計・施工段階での環境配慮に努めている。
環境資源を活用した産業の育成	森林に対する理解の推進	秋田杉の里ニツ井まつり、きみまちの里フェスティバルにおいて、地域環境資源の普及宣伝を図る	庁舎		13,476 17,490	人					秋田杉の里ニツ井まつり、きみまちの里フェスティバルにおいて、地域資源である秋田スギを活用した製品などの環境資源の普及宣伝を図る
		自然環境学習の推進	庁舎		春16人 秋8人	-					自然環境学習の一環として、ふたつ白神郷土の森自然観察会を春と秋の年2回のペースで実施し、環境学習を推進している。
	木材(間伐材・端材・廃材等)の有効利用	公共工事における木材の有効利用を促進	庁舎			-				施設整備などの公共工事を行う際は、環境にやさしく地域資源である木材(間伐材含む)などを活用するようにしている。また、施設解体時の廃材なども保管し、再利用できるようにしている。	
	地域資源の活用	環境創造資源活用事業に取り組む	庁舎			-				地域資源であるゼオライトやスギ間伐材の木炭を原料にした水質浄化ろ剤を試作し、生活排水路や河川の水質浄化と環境産業の創出を目的に、産学官連携による研究会を開催しながら開発研究を進めている。	
快適な生活環境の創造	自然とのふれあいの場の提供	きみまち阪公園、桜づつみ公園等の維持管理	庁舎			-					自然環境の保全と環境学習の場、自然とのふれあいの場を提供するため、きみまち阪公園と桜づつみ公園の維持管理に努めている。
	清らかな水の流れの維持	合併処理浄化槽を毎年70基新設(再掲)	庁舎	70	70	基	課別チェック表	○			
家庭からの使用済み天ぷら油の回収量を月200リットル(再掲)		庁舎	200	228	l	課別チェック表	○				
再生紙の使用	再生紙の使用	外注用紙類の再生紙使用率80%以上を平成19年度まで維持	庁舎	80	91	%	独自目標定量報告書	○			
	事務用紙使用の削減	事務用紙使用量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	6,890.0	4,520	kg	独自目標定量報告書	○			
		事務用紙使用量を平成15～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	施設	5,502	6,032	kg	独自目標定量報告書	×	有	有	学校や子ども園などで児童や保護者への配布物が増加したことが原因。印刷物の簡素化や印刷部数の精査を指導し、次年度での目標達成を目指す。
	庁内廃棄物の削減	廃棄物排出量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	1,903	1,631	kg	独自目標定量報告書	○			
	庁内廃棄物の分別徹底	廃棄物資源化率80%以上を平成19年度まで維持	庁舎	80	80.4	%	独自目標定量報告書	○			
廃棄物(事務用紙)資源化率を平成19年度までに施設全体で10%以上とする		施設	10	17.6	%	独自目標定量報告書	○				

環境監査結果詳細(3)(平成17年度独自目標未達成の原因究明とその対策(2/2))

環境方針	目的	目標	取組区分	目標値	実績値	単位	数値把握方法	目標達成状況	目標未達成の場合		原因と対策	
				H17	H17				原因究明の有無	対策の有無		
自立・循環型の地域づくりおよび率先行動	公共工事における資源有効利用	公共工事における再生資源利用率を高める	庁舎			-					公共工事を行う際は、施設解体時の廃材(木材)や再生アスファルトを積極的に利用するようにしている。	
		道路工事における再生アスファルト使用率100%を維持	庁舎	100	100	%	課別チェック表	○				
	グリーン購入の徹底	グリーン購入率60%以上を平成19年度まで維持	庁舎	60	45	%	独自目標定量報告書	×	有	有	知事選、町長選、町議選、農委選、衆議院選と選挙が多い年度となり、グリーン購入できるものが少ない選挙用品の増による。一般的な事務用品についてはほとんどグリーン購入を行っているため様子を見ることとしたいが、金額の割合で購入率を出す方法が適切であるか検討したい。	
	エネルギー使用の抑制	電気使用量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	329,559	325,047	kwh	独自目標定量報告書	○				
		電気使用量を平成15～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	施設	837,347	768,820	kwh	独自目標定量報告書	○				
		灯油使用量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	39,836	41,438	l	独自目標定量報告書	×	有	有	冬の大雪により寒い日が続いたことと、合併の準備作業による時間外勤務が増加し、個別暖房の使用量が増加した。合併事務については例年とは異なる作業となったが、引き続き個別暖房使用の削減やウォームビズを推進し、使用量削減に努める。	
		灯油使用量を平成15～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	施設	117,569	109,346	l	独自目標定量報告書	○				
		ガス使用量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	1,046	1,162	m3	独自目標定量報告書	×	有	有	合併協議や会議の増加、また、厳寒によるお湯の使用が増えたためと考えられる。無駄のないガス器具の使用を徹底するよう指導する。	
		ガス使用量を平成15～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	施設	2,194	2,273	m3	独自目標定量報告書	×	有	有	給食センターの献立内容により、使用量が増加したことや、子ども園で手作りおやつが多くなったこと、また、厳寒によるお湯の使用が増えたことが主な原因。80m3の超過ではあるが、施設全体の努力次第で達成可能と考えられる。	
		公用車使用に伴うガソリン・軽油使用量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	19,023 18,850	17,604.8 18,029.4	l	独自目標定量報告書	○				
	公用車使用に伴うガソリン・軽油使用量を平成15～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	施設	5,698 4,806	6,370 3,451	l	独自目標定量報告書	○					
	町全体の廃棄物の削減・リサイクル化の推進	ゴミの減量・分別の徹底を図る	庁舎			-						「ごみの出し方・分け方」ルールブックを全戸配布し、町内から排出されるごみの減量と分別の徹底を図っている。
		町内から排出される可燃ごみの排出量を平成12～16年度平均実績より1%削減した値を平成19年度まで維持	庁舎	3,053	3,048	t	環境衛生課資料	○				
		家庭からの使用済み天ぷら油の回収量を月200リットル(再掲)	庁舎	200	228	l	課別チェック表	○				
	自転車のまちづくりの推進	共用自転車(350台)、駐輪場(12カ所)、自転車道(2,890m)の維持管理	庁舎	350台 12カ所 2,890m	450台 12カ所 2,890.5m	-	課別チェック表	○				
		自然エネルギー(太陽光)を利用した電動自転車の維持管理と余剰電力の売電	庁舎		703	kwh	課別チェック表					二ツ井駅前の大型自転車駐車場に太陽光発電設備を設置し、そのエネルギーにより施設・設備の維持を行い、余剰電力は売電している。
	環境に関する情報を周知する	環境に関する情報を月1回広報で呼びかけ、住民に周知	庁舎	12	12	回	課別チェック表	○				
公共施設利用者への環境配慮チェック	公共施設利用者チェックシート配布施設でのチェックを100%	施設	100	100	%	福祉会館	○					
環境家計簿の利用促進	環境家計簿モニターの募集と利用推進	庁舎		29	人						独自の環境家計簿を作成し、モニター実施を行いながら普及・啓発に努めている。	
広域的連携や他自治体との共同運の取り組み	環境自治体づくりにむけての協働	庁舎			-						環境自治体会議の全国大会や、白神山地等の自然環境保全に関する協議会等に参加し、他自治体と連携しながら環境保全活動に取り組む。	